

# 決算報告書

## 第4期

自 2019年 7月 1日  
至 2020年 6月 30日

クラシテ不動産株式会社

# 貸借対照表

2020年6月30日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	214,306	<b>流動負債</b>	184,221
現金及び預金	46,459	買掛金	2,373
売掛金	3,434	短期借入金	157,300
販売用不動産	154,467	未払金	6,925
原材料及び貯蔵品	175	未払費用	590
前払費用	943	未払法人税等	90
その他	8,862	預り金	15,653
貸倒引当金	△ 35	賞与引当金	469
		その他	820
<b>固定資産</b>	73,068	<b>固定負債</b>	71,196
<b>有形固定資産</b>	69,873	長期借入金	71,140
建物	31,374	繰延税金負債	56
工具器具備品	269		
土地	38,229	負債合計	255,418
<b>無形固定資産</b>	315	純資産の部	
ソフトウェア	315	<b>株主資本</b>	32,119
<b>投資その他の資産</b>	2,880	資本金	40,000
出資金	30	資本剰余金	40,000
その他	2,850	資本準備金	40,000
<b>繰延資産</b>	163	利益剰余金	△ 47,880
開業費	163	その他利益剰余金	△ 47,880
		繰越利益剰余金	△ 47,880
		(内当期純損失)	△ 22,264
		純資産合計	32,119
<b>資産合計</b>	287,537	<b>負債・純資産合計</b>	287,537

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 資産の評価基準及び評価方法
- たな卸資産
- 1) 販売用不動産
- 個別法に基づく原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しております。
- 2) 貯蔵品
- 移動平均法に基づく原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産
- 法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。
- 建物(建物附属設備は除く)
- 2007年4月1日以降に取得したもの
- 定額法
- 建物以外
- 2007年4月1日以降に取得したもの
- 定率法
- ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を適用しております。
- なお、取得価額10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、支出時に費用処理しております。
- ② 無形固定資産
- 定額法を採用しております。
- なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
- (3) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金
- 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金
- 従業員の賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
- (4) その他計算書類作成のための基本となる事項
- 消費税等の会計処理
- 税抜方式によっております。